

第 11 回東アジア地域ダム会議 (EADC) 参加募集案内

第 11 回東アジア地域ダム会議 (EADC) が韓国・大田において本年 9 月 26 日～9 月 30 日の日程で下記の通り開催されますのでご案内いたします。

今回は「ダム技術における課題と革新的な解決策」 ”Current Issues and Innovative Solutions in Dam Engineering”を主要テーマとしたシンポジウム及びテクニカルツアー等が予定されていますので、皆様奮ってご参加ください。

本案内は 11th EADC Initial Bulletin をもとに作成しております。詳細は今後変更される可能性がございますのでご了承ください。

1. 開催日程：2022 年 9 月 26 日(月)～9 月 30 日(金)

9 月 26 日(月)	到着
9 月 27 日(火)	プレテクニカルツアー (終日)
9 月 28 日(水)	シンポジウム (終日)、歓迎会
9 月 29 日(木)	ポストテクニカルツアー (終日)、送別会
9 月 30 日(金)	ポストテクニカルツアー (半日)、帰国

2. 開催場所：韓国大田市 K-water Institute

住所: 125, Yuseong-daero 1689beon-gil, Yuseong-gu, Daejeon, Korea 34045

3. シンポジウムの内容

テーマ Current Issues and Innovative Solutions in Dam Engineering
ダム技術における課題と革新的な解決策

トピックス

英文	和文
1. Carbon neutral technologies for mitigating climate change impacts	気候変動への影響を軽減するカーボンニュートラル技術
2. Technology for securing longevity and structural performance of aging dams	老朽化したダムの長寿化と構造性能を確保するための技術
3. Smart inspection and safety management of dams against disaster impacts	自然災害を受けるダムの洗練された調査と安全管理
4. Innovative technologies and experience applicable to dam management and construction	革新的な技術と経験のダム管理及び施工への応用
5. Policy and governance in promoting sustainable dam projects	持続可能なダムプロジェクトを推進するための政策と管理

4. テクニカルツアー

9月27日(火)にプレテクニカルツアー、9月29日(木)～30日(金)にポストテクニカルツアーが開催されます。

日付	ツアー	見学先
9月27日 (火)	プレテクニカルツアー (終日)	<ul style="list-style-type: none"> ・ Buan ダム 高さ:50m 堤頂長:282m 国立公園内にある唯一のダムで、大規模ダム建設から中小規模ダム建設に移行した国の水資源開発政策により、韓国で初めて建設された中型多目的ダム。 ・セマングム展示場 この展示ブースは、韓国農林畜産食品部韓国農村共同体公社のセマングムプロジェクトグループが運営しており、世界最大のセマングム埋め立てプロジェクトの歴史と現状を紹介しています。 ・セマングム防潮堤 群山市、金堤市、チョルラ北道を結ぶ世界一長い防潮堤。 全長 33.9km で世界第2位の Dutch Zazander 防潮堤より 1.4km 長い。
9月29日 (木)	ポストテクニカルツアー (終日)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 擎天台 (ギョンチョンデ) 延長 506km の洛東江の原始のままの風景として有名。近くの松林は陽光にあふれ、岩を覆い、青い空にあふれんばかりに密生し、曲がりくねった洛東江下流との美しい景色と調和しています。サンジュボ川上流域から下流 4km の場所にあり、サンジュボ川から続く 8km の川を眺めることができ、四大河川再生プロジェクト(4MLRP)後の川の様子を見ることができる絶好の場所です。 ・ Yeongju ダム 洛東江の中流域と下流域の水質を改善するために、4MRRP の一環として建設された複合ダム。(2009年12月～2016年12月)。 高さ: 55.5m 堤頂長:400m (CFRD 203m + CGD 197m) 隣接する貯水池の面積は 11.4km²、総貯水容量は 1億 8,100 万 m³、洪水調節能力は 7,500 万 m³。下流に土砂を排出するサンドフラッシュゲート (B5m×H5m×1 EA) が設置されています。さらに、13km 上流に堆積物管理区域 (H 18.3m、L 287.5m) があり、貯水池に流入する砂の堆積を減少させます。 ・ ブソクサ寺院 韓国仏教の曹溪宗第 16 教区の総本山である高雲寺の分寺です。 676年2月、義相が王の命を受けて建立し、当時は華嚴の本寺とされました。

9月30日(金)	ポストテクニカルツアー (半日)	<p>・ Lpobo 堰</p> <p>それぞれ幅 45m、高さ 3m の 6 つの水門に加えて、3 つの 1,000kw の小型水力発電所があります。</p> <p>堰の左側に設置された発電機は、年間 17 億 8,400 万 kwh の電力を供給します。この堰は、ナムハンガン川沿いの洪水を制御し、農業用水を確保するために設置されました。</p>
----------	---------------------	---

5. 参加登録

参加を希望される方は JCOLD 事務局 (secretariat@jcold.or.jp) までご連絡ください。事務局にて参加者情報を確認のうえオンライン参加登録を行います。

締切りは後述の K-ETA 申請手続きのため、**8月26日(金)**とします。

登録料は JCOLD 事務局が一括して韓国大ダム会議に送金します。参加者には登録料+¥4,000 (JCOLD 手数料)を請求いたします。

参加登録料は以下の通りです。

1 USD = 139.48 円 (7/21 みずほ銀行 TTS レート)

参加パターン	参加登録 (宿泊込み)			
	登録区分	宿泊数	日程	登録料 USD (円換算)
1	プレツアー+シンポジウム +ポストツアー (5日間)	4泊	9/26-30	シングル: 1,850 (258,038) ダブル: 1,600 (223,168)
2	プレツアー+シンポジウム (3日間)	2泊	9/26-28	シングル: 880 (122,742)
3	シンポジウム (1日)	-	9/28	480 (66,950)
4	プレテクニカルツアー (1日)	-	9/27	80 (11,158)
5	ポストテクニカルツアー (2日間)	1泊	9/29-30	シングル:240 (33,475)

キャンセルポリシー

2022年8月27日(土)までに韓国大ダム会議に連絡: 100%返金

2022年9月15日(木)までに韓国大ダム会議に連絡: 50%返金

2022年9月16日(金)以降: 返金なし

各参加パターンにおける登録料に含まれる行事は以下の通りです。

参加パターン	9/26 (月)	9/27 (火)	9/28 (水)		9/29 (木)		9/30 (金)	備考	
	到着	プレツア ー	シンポ ジウム	歓迎会	ポストツア ー (終日)	9/29 送 別会	ポストツア ー (午前)	食事	送迎
1		○	○	○	○	○	○	3食/日	あり
2		○	○	○				3食/日	往路のみあり
3			○	○				昼食	
4		○						2食 (昼・夜)	あり
5					○	○	○	3食/日	あり

6. 韓国出入国

1) VISA

韓国への入国には現在は VISA が必要ですが、「企業人など優先入国対象者」K-ETA を招聘人である韓国大ダム会議が申請することにより VISA なしで入国できるよう進めています。

2) 出入国に必要な事項

入国： 日本出国前 48 時間以内に受けた PCR 検査の陰性証明書

「企業人など優先入国対象者」K-ETA 審査結果

入国後： 1 日以内に受けた PCR 検査結果の登録（仁川国際空港にて検査できます。）

出国前： 72 時間以内に受けた PCR 検査の陰性証明書

7. 航空券他

1) 航空券

航空券は各自で手配してください。

必要な方はブルストラベルが手配のお手伝いをいたしますので、直接ご連絡をお願いいたします。

ブルストラベル(株) 電話：03-5541-1811

三浦さん miura@bruce-travel.com

2) 空港送迎

韓国大ダム会議によると、9/26（月）及び 9/30（金）に仁川国際空港と会場との間に送迎バス（2 台/日）が用意される予定です。

8. 問合せ先

一般社団法人日本大ダム会議(JCOLD) 事務局：干場

電話：03-5614-0968

メール：secretariat@jcold.or.jp

以上